

2011 年度版 薬学部 Q & A

国家試験

Q 薬剤師国家試験の成績はどうでしたか。

A 2009 年の合格率は、全国平均 74.40%、青森大学 76.87%で、全国 61 校中 32 位でした。2010 年は、全国平均 56.35%、青森大学 62.5%で、全国 61 校中 28 位でした。2011 年は、全国平均 44.44%、青森大学 67.74%で、**全国 61 校中 3 位**でした。

就職・進路

Q 青森大学薬学部の就職状況はどうでしたか。

A 薬剤師は今もって売り手市場ですから、学生 1 人当たり、何社(調剤薬局・ドラッグストア・病院・製薬会社・他)からも求人があります。したがって、就職率は 100%です。求人申し込みのあった会社から 1 人でも学生を送ってくれるよう懇願されて、対応に苦慮しています。

Q 全国的に薬学部が増えましたが、将来薬剤師が余ってしまうという心配はありませんか。

A 地元薬学部がなかったことと、医薬分業の進展のために、北東北に限ってみれば、長年薬剤師不足が続いています。そのうえ調剤薬局はどんどん店舗を増やしているの、薬剤師不足はますます深刻になっています。北東北には薬剤師過剰時代は当分やって来ません。

Q 薬学部の卒業生は、どんな職種に就けるのでしょうか。

A 本学を含め多くの私立薬学系大学の卒業生は、薬剤師として病院や調剤薬局に勤める人が多数を占めます。本来これ以外に、医療行政、新薬の開発研究、製薬会社の学術業務、MR(医薬品情報担当者)など多くの進路があります。さらにこれからは薬剤師が働く職場はどんどん拡大していきます。CRO(医薬品開発業務受託機関)は、新薬を出すときに臨床試験を組み立てるのが仕事ですが、最近女子学生に人気のある職種です。

Q 薬剤師は他の職種より有利な点がありますか。

A 薬剤師は、比較的給料が高く、リストラに遭うことが少ない職種です。女性の場合、結婚して子供が出来ると、一般的には仕事を辞めるケースが少なくないのですが、薬剤師の場合は子育てが一段落した後でも、正規の職員としてすぐに採用されます。フルタイムでなくて、希望時間だけでも働くことが可能です。子育てが終わってからまた

働いている薬剤師はたくさんいます。

Q 薬剤師の給料はどのくらいですか。

A 青森市内の調剤薬局の初任給は、25万～30万円です。地方にいけば、40万～50万円ぐらいの給料を出すところもあります。

奨学金

Q 薬学部に入るとお金がかかると思いますが、家計が苦しくても薬学部に行けますか。

A 日本学生支援センターから奨学金を借りる制度があります。薬学部学生の場合は、最高で月額14万円借りられます。このケースは3%程度の利息付きです。利息が付くと返すのが大変と思いがちですが、就職してから20年かけて返してもいいので、大きな負担にならないと思っています。

学生支援センターから奨学金を借りてもまだ足りない場合は、本学の「**経済的な理由で修学困難な学生に対する奨学金制度**」に応募して下さい。6年間授業料を半分免除する制度です。学生支援センターの奨学金と違って返還する必要はありません。保護者の所得証明と高校の先生の推薦書を添えて申請して下さい。一生懸命勉強する意欲のある人は、この制度を活用して下さい。

センター試験利用試験で上位の成績の学生には、授業料を全額免除する制度を設けました。学力に自信のある方は、こちらも利用して下さい。

教育

Q 高校時代に生物、数学、物理などの知識を十分に身につけたとはいえない状況ですが、このまま入学して講義についていけるでしょうか。

A 高校時代に未履修だった科目がある学生には、薬学部における講義に必要な基本的知識を身につけてもらえるような科目を設けています。また入学が決まった皆さんには、一部の科目ですが、入学前教育を実施しています。

Q 青森大学の教員は学生を個別に面倒見てくれますか。

A 青森大学薬学部では、担任制をとっており、一人の教員が5、6人の学生を受け持っています。担任教員は、学生の勉学上のことや個人的な悩みごとの良き相談相手になっています。国家試験のための勉強にも、個別に親身に指導しています。こうした個別の親身な指導が、国家試験合格率に貢献していると考えています。

最近、青森大学薬学部に受験した学生さんの中には、自分の先輩から「青森大学薬学部の先生方は国家試験受験を親身に指導してくれる」と聞いたので受験したという人が何人もいます。

社会人入学

Q 社会人入学者はいますか。

A 大学を卒業してから、青森大学に編入学してくる学生が増えてきました。2011年度だけで、9名の学生がいました。他大学を卒業しているので、2年生に編入しています。過去3年間では、国立大学を卒業したものが7名、私立大学を卒業したものが6名です。

理系学部の卒業生だけではなく、文系学部の卒業生もいます。文系学部の卒業生も、立派に頑張っています。社会人入学生は、仕事を辞めて来ていますから覚悟が違います。いずれも良い成績を挙げて勉強しています。

このほかに、他大学からの編入者が3名います。

社会人入学した学生の声

齋藤 照宜（東洋大学卒業）

私は文系大学を卒業後、営業マンとして働いていました。たくさんの人達と出会い、色々な人生に触れる中で、ふと自分の将来について不安を感じました。今の不安定な世の中、一生使える資格が必要なのではないかと思いました。その時、出会ったのが薬剤師資格です。医師同様、生命にかかわる仕事でもあり非常にやりがいも感じました。青森大学に決めた理由は、社会人という立場からでも受けやすかったこと、「経済的困難な学生に対する学費半額免除制度」があったことです。お陰で、親に迷惑をかけずにやっていけると思っています。

最初は文系出身なので基礎的なこともあまりわからない状態でしたが、同級生や先生に聞いたりしながら1年しっかり勉強したことで、2年生では授業内容にも慣れてきて不安を感じることは少なくなりました。

青森大学の薬学部の先生方は非常に親切で、わからないことがあればすぐに先生に聞きに行こうと思える環境が整っています。薬剤師になりたいという気持ちとやる気さえあれば、結果はおのずとついてくると思っています。

曾津 崇子(弘前大学卒業)

私は国立大学の理系学部を卒業後数年間働いていましたが、何の資格もないことの弱みを痛感しました。今後のことを考え、待遇のよい薬剤師の資格を取得しようと思いました。

ただ、長いブランクがあり、新しく勉強することに不安や迷いがありましたが、一歩踏み出してみようと思い、編入学しました。

実際に入学してみると、先生方はわからないことはどんどん質問に来てくださるというスタンスなので、安心して勉強することができます。また、自分と同じ目標を持った人が周りにいるということは勉強することへの励みになります。

今では入学前の不安は無く、やる気があれば目標を達成できると思っています。勉強することが多く大変ですが、その分充実した日々を送っています。あの時一歩踏み出してみて良かったと思っています。

長谷川 愛(三本木高校卒業)

万事、やる気次第

私は高校卒業後数年間働いていましたが、将来を考え青大薬学部に入学しました。薬学部の至上命題は、言うまでもなく国試合格です。ですから大学生活は、正直勉強だけに集約されます。勉強の質と量はともに膨大で、克服し難しい苦手教科も存在します。ですが、それは見かたを変えれば、幅広い分野の勉強をする機会と身分を世の中から公認されたということでもあります。

私は医療とは縁もゆかりも無い職場で働いていましたが、リーマンショックが再び起きても、ひるまず生きていける力と自信を付けたいと思って入学しました。薬剤師として務められれば、最低賃金で会社に延々と搾取される訳でもなく、比較的自由な職場で働けるものと期待しています。自分の一生の糧が身に付くわけですから、やる気のある人や私のように再起を懸けている人には、親身に面倒を見てくれる青大薬学部はお勧めだと思っています。